

# 元立誠小活用事業者決まる ヒューリックを選定

京都市

## 設計・施工 竹中工務店、古瀬組

京都市は、公募プロポーザルを行っていた元立誠小学校跡地活用の契約候補事業者にヒューリック(株)(吉留学代表取締役・東京都中央区日本橋大伝馬町7番3号)を選定したことを発表した。同社のほか竹中工務店、古瀬組等でグループを構成しており、設計・施工を担当する。元立誠小学校は、明治2年、番組小学校として開校。少子化による児童数の減少で、平成5年、高倉東小学校と統合し、閉校になった。



通河原町東入備前島町310・2外2筆。校地面積4933・12㎡。校舎は(北校舎)RC造地上3階地下1階建、延1939㎡(昭和2年)、Is値0・2(未改修)。(南校舎)RC造3階建、延1699㎡(昭和3年)、Is値0・2(未改修)。(講堂)RC造1階建、延337㎡(昭和2年)、Is値0・24(未改修)。

「複合施設」。内容は、文化事業スペース(立誠ホール)、図書館。屋外オープンスペース(立誠ガーデン)。宿泊施設(約200室)、商業施設(京文化しん発見プラザ、立誠テラス)。自治会活動スペース(立誠コミュニティスクエア)など。

近代建築として価値が高い既存校舎は、耐震改修して保全・活用する方針。敷地西側には新築棟(地上8階、地下1階程度)を計画している。

同社の活用に関する提案は「文化が集まり、出会いが生まれ、多様な賑わいが地域に広がる」

選定委員会の講評では「高瀬川からの景観に配慮し、貴重な近代建築である既存校舎と調和したデザインの新築棟を敷地西側に建設するとともに、周囲に回廊を巡らせたオープンスペースを確保した計画



提案のイメージ図



既存の旧校舎

であり、地域のシンボルである既存校舎やグラウンドを上手く活用した施設配置」「地域の自治会活動や文化活動スペースを利用しやすい1階に集約するとともに、文化事業によるまちづくり活動の継続・発

展のため、地域に寄り添った支援を行うなど、地域コミュニティの活性化に資すると考えられる」などと評価している。公募は、昨年10月から募集を開始し、13社が参加。2月の第3回契約候補者選定委員会で1

## 万願寺トンネル詳細設計など 府内コンサルは計78件 発注見通し「工事4面掲載」

### 近畿地整

近畿地方整備局はきょう(3日)、29年度

建設コンサルタント業務等の発注見通しを公表する。京都府内関係は計78件となっている(詳細は後日掲載。工事関係は4~5面掲載)。

入札方法別による内訳件数は、一般競争4件、指名競争24件、簡易公募型競争30件、随意契約1件、簡易公募型プロポーザル18件、標準プロポーザル1件。

主なものは、福知山河川国道事務所が簡易公募型競争対象に西舞鶴道路万願寺トンネル他トンネル詳細設計等業務や由良川流域築堤等設計業務、大宮峰山道路第二高架橋予備設計業務を準備。業種は土木コ